

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

腰椎椎体間固定術におけるチタンコート PEEK ケージと PEEK ケージの放射線学的比較

[研究責任者]

江南厚生病院 整形外科 長谷 康弘

[研究の概要]

腰椎後方椎体間固定術において骨癒合が得られるかは患者さんの症状にとって重要な問題です。時代に応じて使用される椎体間ケージの変遷があり、当院でもチタンコート PEEK ケージと PEEK ケージが使用されています。本研究の目的は、使用されるケージの違いによって骨癒合やケージの沈下率に差があるかを示すことです。

[研究の方法]

●対象となる方

2009年9月1日から2017年7月31日の間に当院にて腰椎後方椎体間固定術を受け、電子カルテにて術後1年以上画像フォローを行っておりかた。

●利用する情報

年齢、性別、骨密度、骨粗鬆症治療、既往歴、CT画像からの骨癒合やインプラントの状態 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、対象者を直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も対象者を特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 整形外科 長谷 康弘

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337